

(株) 松浦造船所の事業基盤強化計画(抜粋)

別紙

企業概要

- 昭和10年の創業以来、内航貨物船を中心に合計で350隻以上を建造。その中でも499G/T型貨物船省エネ船型「M-ship」は、国土交通省の内航船省エネルギー格付制度における五つ星(最高評価)を取得。
- 「船主様に喜んで頂ける船造り」を経営理念に掲げており、船主とともに考え、最高・最適な仕様の提案を実現させるとともに、長期間運航可能な質実剛健・強固堅牢な船舶の提供を図るべく取り組んでいる。

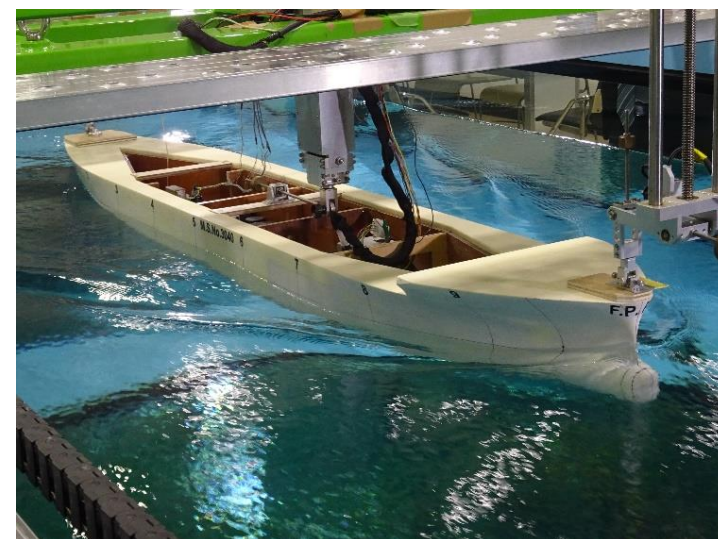


計画の概要

- 2050年の「カーボンニュートラル」に向けて、今後もより一層環境性能が高い船舶のニーズが高まることが予想される。
- そのため、省エネルギー化に資する船舶を市場に提供することにより、社会における環境負荷低減に貢献する。具体的には、既に国土交通省の内航船省エネルギー格付制度において五つ星を取得している省エネ船型「M-ship」をベースとして、さらに省エネ性能を向上させた船舶を開発・建造する。

<計画実施期間> 2024年5月～2028年12月

<実施場所> (株)松浦造船所 本社工場(広島県豊田郡大崎上島町)



新船型の水槽試験の様子